

(概要) 国立公園満喫プロジェクトの2021年以降の取組方針

参考資料 1

- 2016年～2020年までのプロジェクト実施により、特に8国立公園で、プロモーション、施設改修、Wi-Fi整備、多言語化等進展したが、「世界水準」のブランド力・認知度や、民間と連携した利用の質の向上は不十分。
- **コロナウイルスの影響**により国内外の利用者数が大幅に減少し、**公園事業者の事業継続と雇用維持**が課題。アウトドアレジャーやテレワークの関心高まりによる**新たなライフ&ワークスタイルの転換**が見込まれる。
- 訪日外国人の今後の回復は不透明だが、**現時点で2030年の政府全体目標は維持**（訪日外国人6000万人）



国立公園満喫プロジェクトを以下の観点から**2021年以降も継続的に実施し、新たな展開を図る。**

基本的な方針

1 ウィズコロナ・ポストコロナの時代への対応
～ワーケーション等～

- **国内誘客の強化**、地域内観光の受け皿として再構築
- **ワーケーション**など国立公園の新しい利用価値を提供
- コロナ禍での安心・安全で快適に利用できる受入環境整備
- 国立公園のブランディング、多様な利用者層をターゲットにしたコンテンツ充実・情報発信
- 限定体験やキャパシティコントロールの推進による保護と利用の好循環

2 水平・垂直展開
～8公園から全公園へ～

- **全34公園の底上げ・水平展開（法改正も含む制度化検討、総合展開型・個別事業型）**
- **さらなる高みを目指した集中的な取組**による「世界水準のデスティネーション」の実現（保護と利用の好循環、上質なサービス、コラボコンテンツ、周辺地域との広域周遊、サステナブルツーリズム等）
- 先行8公園等は取組継続・成果を生かした誘客
- 国立公園・ロングトレイルの資源の活用・連携

3 これまでの基本的な視点の継続・重視

最大の魅力は自然そのもの／人の暮らし・文化・歴史を有する自然との共生の姿／「体積」で考える／幅広い利用者層に対応／広域的な視点／サステナビリティ

目標・指標

当面の目標
(～2025)

- **自然を満喫できる上質なツーリズムの実現とブランド化**。そのための「質」の目標・指標の設定（延べ宿泊者数、認知度等）
- 新型コロナウイルスによる影響前の**国内利用者の復活**
- 訪日外国人利用者数**1000万人目標を見据えた、同ウイルスによる影響前の訪日外国人利用者の復活**
- 取組を行う公園・地域ごとに個別の目標・指標を設定 ※政府全体目標次第で必要な見直しを検討

長期目標（～2030）政府全体目標を踏まえつつ、上記の「当面の目標」の達成状況をフォローアップする中で検討

<1>

(概要) 国立公園満喫プロジェクトの2021年以降の取組方針

具体的なアクション

(1) 国立公園満喫プロジェクトの制度化

- ・ 満喫プロジェクトによる適正な利用促進の取組を自然公園制度に反映（自然体験プログラムの促進、利用拠点滞在環境の上質化等）

(2) 国立公園の新しい利用など幅広いターゲットを想定した情報発信とコンテンツ造成

- ・ 国内誘客に重点をおき、「国立公園」の認知度を向上させるためのプロモーション。
- ・ ワークーション等の新しい利用、アドベンチャーツーリズム、サステナブルツーリズム等の様々なターゲット。
- ・ 日本の国立公園の特徴・ストーリーを活かした地域内外のブランディングやコンテンツ造成。現地で活躍する人材育成。

(3) 質の高さや快適性・環境保全に配慮された体験利用の推進と保護と利用の好循環

- ・ 限定体験やキャパシティコントロールの推進、利用者負担の仕組みづくり。利用形態に応じたゾーニング（エリア分け）

(4) 利用者受入れのための基盤整備

- ・ 基盤とする利用環境の整備（多言語化、トイレ洋式化等）を先行8公園以外の国立公園に展開
- ・ ビジターセンターの利用案内機能の強化と他施設との連携促進
- ・ 感染対策や自然災害に対応した安全で快適な利用施設の提供（ビジターセンター等環境整備、山小屋の施設改修等の支援検討）
- ・ 利用施設やサービス等における脱炭素・脱プラなど環境配慮型の受入環境づくり

(5) 滞在したくなる利用拠点を目指した景観の磨き上げ

- ・ 面的な利用拠点上質化、廃屋撤去。廃屋化防止のための公園事業の経営状態の把握や改善指導

(6) 官民連携の強化・広域的取組への発展

- ・ 地域の金融機関や交通機関等との連携体制構築。民間企業やDMOとの連携強化と取組の更なる発展
- ・ 複数公園・周辺観光地との広域的な周遊利用、文化・地場産品等を含めた地域一帯のプログラム造成、ロングトレイルの活用

国立公園満喫プロジェクトの取組成果を踏まえ、令和3年度予算による多言語化の充実やコンテンツの造成・受入体制整備の支援及び自然公園法の改正案により国立公園に展開を図り、優れた自然資源を活かして広域的な自然観光を推進する。

1. 令和3年度予算案等における国立公園対象事業

- ①国立公園等多言語解説等整備事業（補助）
- ②国立公園等の自然を活用した滞在型観光コンテンツ創出事業（補助）
- ③国立公園・温泉地等での滞在型ツアー・ワーケーション推進事業（令和2年度3次補正予算）（補助）



【展開の方法】

- 各補助事業に対する公募を通じて支援
- ①②については、以下の点などを考慮して優先的に支援
 - ・自然景観等のポテンシャルの高さ、地域における受入体制の充実状況、周辺の国立公園との一体利用等
 - ・訪日外国人旅行者の地域での受入環境を整えるもので、訪日外国人の誘客が見込める地域

（参考）支援事業の公募情報ウェブサイト

- 地方公共団体・事業者向け支援事業【令和2年度補正予算及び国際観光旅客税等】
<http://www.env.go.jp/nature/np/ryokakuzei00/index.html>



2. 自然公園法改正案の主な内容

- ①地域主体の自然体験アクティビティ促進の法定化・手続きの簡素化
- ②地域主体の利用拠点整備の法定化・手続きの簡素化
- ③保全管理の充実

詳細については以下を参照

- 令和3年3月2日発表：自然公園法の一部を改正する法律案の閣議決定について
<http://www.env.go.jp/press/109250.html>



国立公園訪日外国人利用者数の推計について

参考資料3

当推計は、観光庁「訪日外国人消費動向調査(全国調査)」の調査票情報を利用し推計したものである。具体的な推計手順は以下のとおり。
 ①訪日外国人消費動向調査の「訪問地選択肢コード」のうち、国立公園内の観光地等を抽出(680の訪問地選択肢コードのうち139を抽出)
 ②訪日外国人消費動向調査における訪問地ごとの選択率(当該訪問地の回答数/有効回答数)を算出。
 ③訪日外国人の母集団構成に合わせるため、上記②について国籍・地域別及び出国港別ウェイトバック*を実施(平成29年以前は国籍・地域別ウェイトバックのみ。)
 *日本政府観光局(JNTO)「訪日外客数」及び法務省「出入国管理統計」をウェイトとして使用。
 ④JNTO「訪日外客数」の総数に、上記③のウェイトバック後の選択率を乗じ、推計。

公園名	訪日外国人利用者数														
	H27		H28		H29		H30				H31/R1				
	推計実利用者数 *1(千人)	標準誤差率 (%)	推計実利用者数 *1(千人)	標準誤差率 (%)	推計実利用者数 *1(千人)	標準誤差率 (%)	推計実利用者数 *1(千人)	前年増減 (%)	標準誤差率 (%)	(参考)推計実利用者数 (95%信頼区間) *2(千人)	推計実利用者数 *1(千人)	前年増減 (%)	標準誤差率 (%)	(参考)推計実利用者数 (95%信頼区間) *2(千人)	
1 利尻礼文サロベツ	5	31.6%	14	21.1%	10	26.9%	13	35.5%	26.6%	6 ~ 20	9	-31.7%	31.6%	3 ~ 15	
2 知床	21	15.4%	28	14.5%	20	18.7%	38	84.3%	15.8%	26 ~ 49	14	-63.7%	25.8%	7 ~ 21	
3 阿寒摩周	63	8.9%	58	10.2%	57	11.2%	58	2.4%	12.7%	44 ~ 72	51	-12.2%	13.4%	38 ~ 64	
4 釧路湿原	34	12.0%	27	15.0%	39	13.5%	42	8.1%	15.0%	30 ~ 54	34	-18.0%	16.2%	23 ~ 45	
5 大雪山	64	8.8%	83	8.5%	60	10.9%	80	32.5%	10.8%	63 ~ 97	83	3.9%	10.4%	66 ~ 100	
6 支笏洞爺	688	2.6%	827	2.7%	901	2.8%	1,068	18.4%	2.9%	1,006 ~ 1,129	959	-10.1%	3.0%	902 ~ 1,016	
7 十和田八幡平	7	26.7%	22	16.6%	19	19.5%	29	55.8%	17.9%	19 ~ 40	34	16.8%	16.3%	23 ~ 45	
8 三陸復興	10	22.4%	16	19.2%	15	21.6%	13	-14.8%	26.9%	6 ~ 20	23	76.4%	19.9%	14 ~ 32	
9 磐梯朝日	0.5	100.0%	4	39.4%	9	27.4%	6	-36.7%	39.6%	1 ~ 11	11	83.3%	28.8%	5 ~ 17	
10 日光	190	5.1%	241	5.0%	271	5.1%	304	12.2%	5.5%	271 ~ 337	276	-9.4%	5.7%	245 ~ 307	
11 尾瀬	-	-	2	53.2%	-	-	-	-	-	-	1	-	128.4%	0 ~ 2	
12 上信越高原	214	4.8%	265	4.7%	322	4.7%	341	5.7%	5.2%	306 ~ 376	354	3.9%	5.0%	319 ~ 389	
13 秩父多摩甲斐	19	16.2%	22	16.5%	10	26.7%	11	12.4%	29.0%	5 ~ 18	12	7.7%	27.5%	6 ~ 19	
14 小笠原	-	-	0	133.5%	-	-	2	-	72.4%	0 ~ 4	2	38.7%	60.4%	0 ~ 5	
15 富士箱根伊豆	2,341	1.4%	2,577	1.4%	2,580	1.6%	2,991	15.9%	1.7%	2,892 ~ 3,090	3,093	3.4%	1.6%	2,994 ~ 3,192	
16 中部山岳	338	3.8%	351	4.1%	382	4.3%	376	-1.5%	5.0%	339 ~ 413	351	-6.6%	5.1%	316 ~ 386	
17 妙高戸隠連山	8	24.2%	6	32.5%	13	23.4%	14	9.4%	25.7%	7 ~ 21	17	18.3%	23.2%	9 ~ 24	
18 白山	3	40.8%	1	66.3%	2	68.3%	4	147.4%	49.8%	0 ~ 7	8	99.9%	34.7%	2 ~ 13	
19 南アルプス	-	-	1	93.6%	2	57.2%	1	-69.0%	117.9%	0 ~ 2	0.2	-73.1%	223.5%	0 ~ 1	
20 伊勢志摩	33	12.2%	61	9.9%	76	9.7%	49	-35.6%	13.9%	36 ~ 62	71	44.6%	11.3%	55 ~ 86	
21 吉野熊野	53	9.7%	59	10.1%	67	10.3%	63	-5.9%	12.2%	48 ~ 78	64	2.7%	11.9%	49 ~ 79	
22 山陰海岸	32	12.4%	50	10.9%	43	12.8%	41	-5.5%	15.1%	29 ~ 53	46	11.1%	14.1%	33 ~ 58	
23 瀬戸内海	296	4.1%	310	4.0%	387	4.3%	676	75.0%	3.7%	627 ~ 725	671	-0.8%	3.6%	623 ~ 719	
24 大山隠岐	6	28.9%	14	20.8%	11	25.5%	5	-57.0%	44.7%	1 ~ 9	12	152.3%	27.7%	5 ~ 18	
25 足摺宇和島	0.5	100.0%	5	35.4%	5	38.3%	1	-85.9%	117.3%	0 ~ 2	3	357.3%	53.9%	0 ~ 6	
26 西海	55	9.5%	74	9.0%	56	11.3%	45	-18.9%	14.4%	32 ~ 58	65	44.7%	11.8%	50 ~ 81	
27 雲仙天草	28	13.2%	29	14.4%	25	16.8%	23	-10.4%	20.4%	14 ~ 32	15	-34.7%	24.8%	8 ~ 22	
28 阿蘇くじゅう	682	2.7%	675	2.9%	926	2.7%	1,034	11.7%	3.0%	974 ~ 1,094	752	-27.3%	3.4%	702 ~ 803	
29 霧島錦江湾	71	8.3%	79	8.7%	129	7.4%	142	10.7%	8.1%	120 ~ 165	120	-15.8%	8.7%	99 ~ 140	
30 屋久島	10	22.4%	17	19.0%	25	16.8%	17	-31.7%	23.4%	9 ~ 25	22	28.4%	20.3%	13 ~ 31	
31 奄美群島	-	-	-	-	6	35.0%	2	-73.0%	77.3%	0 ~ 4	2	58.8%	60.4%	0 ~ 5	
32 やんばる	-	-	-	-	-	-	22	-	20.8%	13 ~ 31	15	-30.8%	24.6%	8 ~ 22	
33 慶良間諸島	-	-	-	-	-	-	27	-	18.5%	18 ~ 37	24	-12.5%	19.4%	15 ~ 33	
34 西表石垣	12	20.4%	14	20.8%	14	22.7%	32	129.5%	17.2%	21 ~ 42	12	-61.1%	27.2%	6 ~ 19	
合計(選定された8公園 *3)	1,052	-	1,150	-	1,488	-	1,649	10.8%	-	1,574 ~ 1,724	1,340	-	2.6%	1,273 ~ 1,407	
合計(各公園計)	5,284	0.8%	5,932	0.9%	6,482	0.9%	7,569	16.8%	1.0%	7,425 ~ 7,713	7,228	-4.5%	1.0%	7,088 ~ 7,368	
合計(推計実利用者数)	4,902	0.9%	5,457	0.9%	6,001	1.0%	6,940	15.7%	1.0%	6,800 ~ 7,080	6,669	-3.9%	1.0%	6,533,344 ~ 6,804,918	
訪日外客数全体 *4	19,737	-	24,039	-	28,691	-	31,192	8.7%	-	-	31,882	2.2%	-	-	

…年ごとの上位10公園
 …参考値 *5

(訪日外国人利用者数の推計値についての注意点)

- *1 推計実利用者数: 当該国立公園を訪れた実際の利用者数の人数。1人の利用者が同一公園内の複数地点を利用しても1人と数える。また、合計(選定された8公園)及び合計(各公園計)は、1人の利用者が2つの公園に訪れると2人と数え、合計(実利用者数)は、1人の利用者が複数の公園を訪れても1人と数える。千人単位で四捨五入している。
- *2 95%信頼区間: 同じ母集団の標本調査を100回行うと、そのうち95回はこの区間の中に母平均が含まれる。
- *3 国立公園満喫プロジェクトにおいて先行的・重点的に取組を進めることとされた公園。阿寒摩周国立公園、十和田八幡平国立公園、日光国立公園、伊勢志摩国立公園、大山隠岐国立公園、阿蘇くじゅう国立公園、霧島錦江湾国立公園、慶良間諸島国立公園。
- *4 訪日外客数全体: 出典: 日本政府観光局(JNTO)「訪日外客数」
- *5 標準誤差率が30%以上の公園については、サンプル数が少なく信頼性が低いので、参考値とする。取り扱いには十分注意し、転載や二次使用する際には、信頼性の低い参考値であることを明記し、その旨を理解して使用すること。(特に、「訪日外国人消費動向調査」の調査対象空港が少ない場所においては、捕捉率が低くなっている可能性がある。)

※平成29年以前の「慶良間諸島国立公園」及び「やんばる国立公園」は、「訪日外国人消費動向調査」の訪問地選択肢コードに該当する地点が無かったため、推計対象外。

※平成27年の「尾瀬国立公園」・「小笠原国立公園」・「南アルプス国立公園」、平成29年の「尾瀬国立公園」・「小笠原国立公園」及び平成30年の「尾瀬国立公園」は、標本数が0(欠損)のため推計不可として扱った。

※四捨五入の関係で合計値が合わない場合がある。

国立公園満喫プロジェクト有識者会議
委員名簿

<敬称略・五十音順>

【学識者】

ロバート キャンベル（国文学研究資料館長）

わくいしろう
涌井史郎（東京都市大学特別教授） ※座長

【観光関係者】

いしいたる
石井 至（株式会社石井兄弟社社長）

えざききく
江崎貴久（旅館海月女将、有限会社オズ代表取締役）

デービッド・アトキンソン（小西美術工藝社社長）

ほしのよしはる
星野佳路（星野リゾート代表）

【ジャーナリスト・ライター】

のぞえ
野添ちかこ（温泉と宿のライター）